

藍住町 議会だより

第 104 号

2021(令和3)年2月25日

藍住町議会ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



12月定例会

令和2年度

一般会計補正予算……………P.3

一般質問

～町政のここが聞きたい～

……………P.4～9

わたしの一言……………P.10

改選後1年を終えて～私たちの思い～

QRからも議員の思いを約30秒間の動画でご覧いただけます

若
さ
と
情
熱
で
、
い
つ
ま
で
も
夢
が
広
が
る
町
を
創
っ
て
ま
い
り
ま
す。

前田晃良 議員




新
し
い
流
れ
を
町
に
!!
の
思
い
を
胸
に
、
こ
れ
か
ら
も
全
力
で
駆
け
抜
け
ま
す。

竹内君彦 議員




議
会
改
革
に
よ
り
、
よ
り
良
い
議
会
に
、
ひ
い
て
は
、
よ
り
良
い
藍
住
町
へ
と。

米本義博 議員




大
規
模
災
害
か
ら
藍
住
町
民
を
守
り
、
子
育
て
と
高
齢
者
を
地
域
で
支
え
る。

永浜浩幸 議員




必
ず
来
る
未
来
の
た
め
に
今
す
べ
き
こ
と
を
み
ん
な
と
も
に
語
っ
て
い
き
た
い。

宮本影子 議員




感
染
拡
大
で
変
わ
つ
た
目
常
。こ
の
難
局
を
乗
り
越
え
ま
す。

森 伸二 議員




コ
ロ
ナ
に
負
け
る
な

近藤祐司 議員




開
か
れ
た
議
会
、
町
民
の
皆
様
の
声
に
耳
を
傾
け
町
政
に
反
映
し
、
活
力
の
あ
る
町
へ。

紙永芳夫 議員




心
豊
か
な
暮
ら
し
が
送
れ
る
社
会
福
祉
の
町
づ
く
り
を
推
進
す
る。

鳥海典昭 議員




高
齢
者
の
移
動
手
段
と
し
て
コ
ミ
ュ
ニ
テ
ィ
ー
バ
ス
導
入
に
全
力
投
球
し
ま
す。

小川幸英 議員




不
況
で
仕
事
や
暮
ら
し
が
大
変
で
す。
困
っ
て
い
る
人
に
や
さ
し
い
町
政
を。

林 茂 議員




届
け、
地
域
の
課
題。
住
民
の
声
を
大
切
に
町
政
へ
届
け
ま
す!

奥村晴明 議員




愛
す
る
わ
が
町
の
た
め
に
福
祉
、
教
育
、
防
災
対
策
を
前
進
さ
せ
る。

佐野慶一 議員




町
民
第
一
の
思
い
で、
円
滑
な
議
会
運
営
と
困
難
な
課
題
に
力
を
注
ぐ。

森 志郎 議員




ま
ち
づ
く
り
に
必
要
な
重
要
課
題
に
真
摯
に
取
り
組
ん
で
い
き
ま
す。

平石賢治 議員




暮
ら
し
や
す
い
ま
ち
づ
く
り
は
積
極
的
な
皆
様
の
声
で
実
現
す
る。

西川良夫 議員




12月議会定例会が12月7日から18日までの12日間の会期で開会され、
下記の議案について審議しました。

一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

12月定例会

～町長提案～

- 令和2年度藍住町一般会計補正予算可決
- 令和2年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算可決
- 令和2年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算可決
- 令和2年度藍住町特別会計（介護サービス事業）補正予算可決
- 令和2年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）補正予算可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正可決
地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の軽減判定所得基準が変更
となることによる一部改正
- 藍住町後期高齢者医療に関する条例の一部改正可決
- 藍住町介護保険条例の一部改正可決
- 藍住町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定可決
公職選挙法の一部改正に伴う制定
- 板野西部青少年補導センター組合を組織する地方公共団体の数の減少及び
板野西部青少年補導センター組合の規約の変更可決
令和3年3月31日限り、板野西部青少年補導センター組合から
藍住町が脱退することに伴う規約変更
- 監査委員選任の同意林 健太郎氏
- 藍住町小中学校情報機器整備事業の購入契約の締結可決
契約金額 2億7,649万7,100円
請負業者 株式会社 京屋サンティー

～陳情～

1件の陳情があり、議員に配布しました。

- 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い
陳情者 一般社団法人 徳島県設備業協会
会長 石川 雅一

令和2年 第4回臨時会

11月30日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

～町長提案～

- 令和2年度藍住町一般会計補正予算可決
公立学校情報機器整備事業が年度をまたぐ事業になるため、2億9,000万円を繰越明許費とする
- 藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正可決
- 常勤特別職の給与に関する条例の一部改正可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正可決



監査委員の再任に同意

林 健太郎 氏（徳島市）

任期 令和2年12月25日から令和6年12月24日

令和2年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ **2億3,000万円増額**

予算総額 **160億8,000万円**

～主な補正の内容～

総務費

- ◆特別定額給付金事業 △1,077万円
- ◆庁舎空調機改修工事 2,100万円

民生費

- ◆後期高齢者医療費療養給付費負担金 3,054万円
- ◆児童福祉施設等衛生用品整備事業補助金 950万円

衛生費

- ◆高齢者インフルエンザ予防接種事業 800万円

土木費

- ◆町道物件移転補償費 1,400万円

教育費

- ◆北南小学校トイレ改修工事 1億4,576万円
- ◆中学校指導書購入費 790万円

令和2年度特別会計補正予算

1万円未満四捨五入

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	60万円	34億5,090万円
介護保険事業	402万円	27億838万円
介護サービス事業	224万円	860万円
後期高齢者医療事業	81万円	3億7,981万円

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

（定例会日程についてはホームページに掲載しています。
そちらをごらんください。）

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政、議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
 - ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③字数は500字以内。
 - ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 ☐ gikai@aizumi.i-tokushima.jp



ひらいし けんじ 議員
平石 賢治

今後の人口推計と町長の 町政に対する考えについて

町民の生活満足度の向上のため、
全力で町政運営に臨む

問

人口が右肩上がりが増えてきた藍住町も、ほぼ頭打ちの状態になってきている。

本町でも、人口ビジョンを策定していると思うが、今後の人口全体、また人口構造をどのように推計し、どのような考えで町政に臨んでいるのか。

答

総人口が伸びない中で、少子高齢化が進み、年少人口、生産年齢人口の減少分が、高齢者増加分とほぼ等しい状況が続くと認識している。

また、来年度以降、コロナ禍による収支減で厳しい財政運営を余儀なくされることが想定される。

このため、行財政改革を推進して組織のスリム化と歳出削減を図るとともに、収支以外の外部資金も含めた歳入確保に意を用いてまいりたい。

高齢化の進展に伴う移動手段の確保に向けた取組は

来年度からタクシージェットの
試験的な配布を検討中

問

高齢者だけの世帯では、いくら便利な町といえども、たちまち、移動手段の確保に困ることになる。

本町においても、当然こうした認識を持っており、昨年度から地域公共交通の在り方を検討していると思うが、来年度以降どのような取組を進めていくのか。

答

来年度から免許返納者等へのタクシージェットの配布を試験的に行いたいと考えている。その上で、タクシージェットの利用状況や費用対効果、路線バス等の公共交通機関の状況を見極めつつ、交通ニーズ調査などの調査報告書の結果を踏まえて、コミュニティバスを含めた検討を継続していきたい。

コロナ禍を契機に高齢者が集 中する行事の在り方の検討を

抜本的な見直しを検討中

問

急速に高齢化率が高まる本町で、高齢者に対する政策は大変重要である。
敬老のつどいや節目の年の敬老の祝い金なども、

これまでやってきたからと単に継続するのではなく、コロナ禍を契機に在り方を検討してみたいかどうか。町長の考えは。

答

敬老のつどいについては、各地区の老人クラブ等が中心となって、交流行事を企画・提案し、それに対して町が一定額助成する方式に転換していきたいと考えている。

なお、人数が限定される金婚、ダイヤモンド婚のお祝いは、引き続き町主催で開催する。

また、敬老祝い金については、75歳以上の方全員に3000円程度の町内店舗で利用できる商品券を毎年配布したいと考えている。3月定例会において、条例改正案等の中で示したい。



藍住町 金婚・ダイヤモンド婚記念品贈呈式



おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英

新型コロナウイルス対策について

情報収集を行い、
支援制度等の周知に努める

問

本町が行ってきたあいずみ活性化プレミアム商品券事業、あいずみ食うポン券事業、パパママ応援給付事業、事業継続支援金給付事業、リフォーム補助事業の現状はどうなっているか。

答

各補助事業の現状については、別表1・2・3のとおり（令和2年11月30日現在）。

問

J/A板野郡と連携し、支援制度周知及び農地の番地や面積の確認を行っている。

答

来年度から病院の関係者や高齢者等にワクチンを接種するとの国の方針だが、本町においてその体制づくりはできているのか。

答

確定的な情報をもとに、県や市町村間で情報共有を図りつつ、準備を進めていきたい。

（別表1）各種商品券事業の販売（引換）及び使用率

プレミアム 商品券事業	対象人数	販売額計(円) ※プレミアム付加後 206,600,000円		使用率
	14,806	165,280,000	販売累計(組)	67.8%
			8,264	
食うボン 券事業	対象人数	引換額計(円)		使用率
	6,484	28,420,000	引換累計(組)	50.4%
			5,684	
パパママ応援 給付事業	対象人数	支給額計(円)		使用率
	181	18,100,000		39.8%

（別表2）藍住町事業継続支援金給付事業実施状況

藍住町事業継続支援金給付事業	総事業費(円)	10,530,000	給付額計(円)	執行率
			給付累計(人)	
	24,000,000		36	43.8%

（別表3）リフォーム補助事業実施状況

事業区分	申請件数(件)	交付決定額(円)
住 宅 分	134	30,341,000
店 舗 等 分	29	10,386,000

高齢者対策について

安心して暮らし続けられるよう、
取り組んでいく

問

今年から65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種が無料となったが、現状と対策はどうなっているか。

答

予防接種を受けた方は10月末現在で46・7%。

問

コロナ禍の今、高齢者の外出が少なくなり、家で過ごす時間が多く、認知症が増えるとの専門家の意見があるが町として高齢者の居場所づくりをどのようにしているか。

答

藍翠苑や、老人憩いの家を設置し、交流の場として活用いただいている。

また、高齢者の自主組織に対しても支援を行っており、多くの高齢者に参画いただくことが居場所づくりにつながると考えている。

問

防災無線が全然聞こえないという声が多いが戸別受信機を導入してはどうか。

答

戸別受信機の一般配布は予定していない。なお、防災行政無線はデジタル化工事を進めており、令和3年4月に運用開始予定。

問

移動手段のない高齢者が使う電動アシスト自転車やクーラー設置の補助ができないか。

答

電動アシスト自転車は、高齢者にとってリスクの高い乗り物であることや、クーラーは既に生活必需品であることから、補助は考えていない。

学校教育について

工夫した取組を行っている

問

新型コロナウイルス感染者の差別抑止など人権擁護対策はできているのか。

答

コロナ差別の実態について、教材等を用いて、各学校で工夫した取組を行っている。担任からの説話等は全学校で行っている。

問

年末年始は県外からの訪問客や県外への移動をすることが多いが、コロナに感染しないような学校での取組は。

答

成人式の延期が、県をまたぐ帰省者の抑制につながると考えている。



よねもと 義博 議員
米本

タブレット端末導入により 学校はどう変わるのか

デジタル教材が使われる授業に変わっていく

問

日本は他の先進国と比べ、電子化・デジタル化が遅れていると指摘されている。世界から取り残されないよう、本町でもGIGAスクール構想を推進しており、小中学校の1人1台端末を整備しようとしているが、教員や生徒が、その機材の使用方を十分理解し、有効に活用していかねければならない。各教室では、具体的に端末をどのように活用し、どのような授業が行われるようになるのか。

答

デジタル教材の主な利点は、次のとおり考えられる。学習内容を動画等を使って分かりやすく伝えることができる。それから、プログラミング的思考やICT機器の操作技術を身につけることができる。さらに、教員の教材準備時間の短縮といったこと等が挙げられる。

一方で、これまで重視してきた学習方法の必要な部分を継承することの大切さも共通理解していきたい。

電子黒板の導入について

来年度より導入を開始し、
年次的に導入を進めていきたい

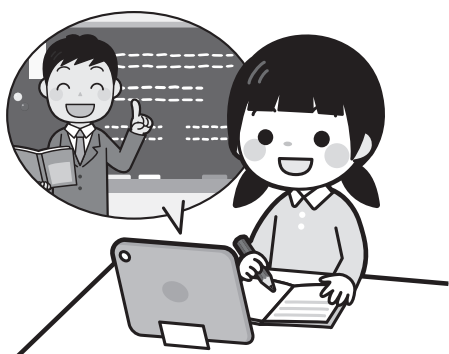
問

生徒の手元のデジタル化が進めば、次は、教える側のデジタル化はどうか。現在では電子黒板の普及が進んできているが、本町の電子黒板の整備率は近隣の市町村に比べ、かなり低いと聞いた。タブレット端末を有効活用するためには、不可欠なものではないかと思うが、現時点での教育委員会の電子黒板導入に関する考えは。

答

教室中の子供たちが同じ画面を見ながら学習するためには、大きな画面が必要であり、電子黒板は不可欠。

これによって、授業の幅が広がり、可能性も大きく広がるのが期待され、既に実証もされている。来年度より本格的に導入を開始し、年次的に導入を進めていきたい。



学校トイレの洋式化について

交付金等の財源を確保し、
大規模改修を行っていきたい

問

今議会に、1億4000万円余りの補正予算が計上され、北小と南小のトイレ改修を一気に進めるとの思い切った方針転換であるが、今回の補正予算を組むに至った経緯や財源の確保は。

また、改修後の洋式化率は。残る学校の改修には、どのように取り組んでいく方針なのか。

答

これまで一般財源のみを投入し洋式化率を高めてきた。しかし、今回は、上限はあるものの国の学校施設環境改善交付金が認められた。一部、町単独負担は残るが、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債が充当できることになる。

なお、和式トイレも一部残すため、改修後の洋式化率は、60〜65%程度となる。

今後、このような交付金などの財源を確保して大規模改修を行っていきたい。



藍住北小学校



こんどう ゆうじ 議員
近藤 祐司

地方創生（移住・定住）について

地域の将来を担う人材の
町内定着を後押ししていきたい

問

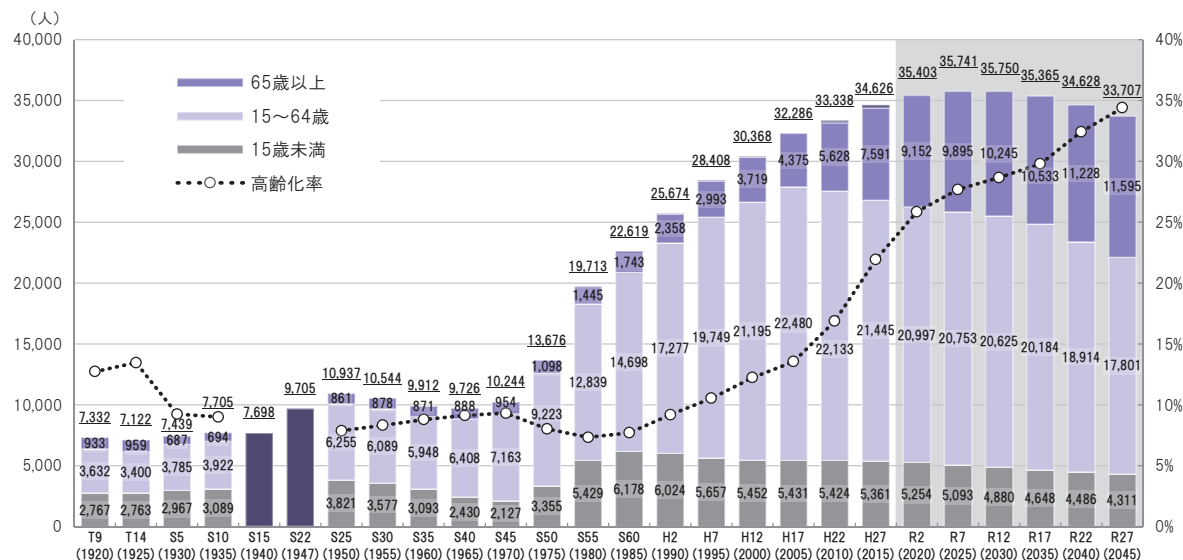
本町は人口が増加を続ける数少ない自治体であり、移住・定住を主眼とする地方創生にはそれほど熱心に取り組んでこなかったように思う。むしろ、取り組みが必要がなかったと言える。しかし、やがて人口増も止まる。本町としても、地方に暮らしたいと考える人の後押しをするような、移住・定住促進策が必要ではないかと思うが、どう考えているのか。

答

本町では、藍住町地域おこし協力隊、わくわく移住支援金の創設、本年4月には移住交流支援センターを設けるなど、移住交流施策を推進してきている。

また、本町に移住・定住を希望する若者を支援するため、現在の奨学金貸与制度を抜本的に見直し、奨学金返還を助成する町独自の制度を創設したいと考えている。具体的には、日本学生支援機構の奨学

藍住町の総人口の推移（年令3区分別）



出典：第2期藍住町総合戦略（2020）

金を受けている者で、大学等卒業後一定の期間町内に定住していることを確認できれば、返還支援として最大で年10万円の助成を5年間行うような制度を検討中。詳細については、3月定例会で示したい。

汚水処理人口普及率について

合併浄化槽への転換の普及啓発と
補助制度の新設により、支援を行っていく

問

新築の家の場合、平成13年から合併浄化槽が義務付けられているが、町内にはまだまだ単独浄化槽が多く、合併浄化槽への転換が遅れているのが現状ではないかと思う。単独浄化槽の家庭が合併浄化槽への転換に踏み切れるように、支援を充実させる必要があるのではないかと思うが、どのように考えているのか。

答

単独浄化槽から合併浄化槽への転換を強力に進めていく必要があると考えている。そのため、令和3年度からの次期地域計画においては、まず、義務化がされて既に20年近くが経過する合併浄化槽の新設については補助を廃止。その財源でこれまで補助対象となっていなかった転換における宅内配管工事に対し上限30万円とする新たな補助制度を設置、あわせて、補助単価の上限が嵩上げされる高度処理型浄化槽整備への変更といった抜本的な見直しを図っていく予定。





はやし 林 議員

住宅リフォーム補助事業の成果は

一定の効果はあったと考えている

問

コロナ禍の不況対策として、町の住宅リフォーム補助事業は地域経済活性化対策として初めて実施された事業である。事業の申請件数と補助金総額、キャンセル待ちの件数は。

答

リフォーム補助事業については、別表のとおり。
問 新年度の不況対策は住宅リフォーム補助事業を。

不況対策は大型公共事業でなく、地元の中小零細業者の仕事確保につながる小規模工事ほど、労務比率が高く、工事費の中に占める賃金の割合が多いため、労働者の賃金収入となり地域経済を活性化する力になる。

答

今回のような緊急的な経済対策は、基本的に期間を定め予算の範囲内で実施すべきものであり、恒久的に行うべきものではないと考えている。

(別表) リフォーム補助事業実施状況 (令和2年11月30日現在)

事業区分	申請件数(件)	交付決定額(円)	キャンセル待ち件数(件)
住宅分	134	30,341,000	36
店舗等分	29	10,386,000	9



洋式トイレ化の計画見直しを 財源を確保し、大規模改修を行っていききたい

問

藍住町は板野郡内での洋式トイレ率が最下位。計画の見直しを。

答

今後は、財源を確保し、大規模改修によって学校トイレの環境を向上させていきたい。

問

北小、南小のトイレ改修工事費約1億5000万円の予算だが、全ての小中学校のトイレを洋式化できる予算であった。なぜ高いのか。東小と西小と併せて工事はできないのか。

答

職員用の和式トイレも、妊娠すると、しゃがむのが苦痛だとの声が出ているため洋式トイレに改修を。トイレを洋式化するとともに、床を湿式から乾式に転換するための大規模改修に伴う工事費となっている。

また、教職員トイレについては、児童・生徒のトイレ改修ができ次第検討していきたい。

汚水処理事業の見直しを 県や関連市町と協議を進めながら、 見直しを行っていききたい

問

し尿くみ取りの汚泥を公共下水道に流す事業計画の進捗状況と、下水道に流すことによる財政効果は。

答

現在、中央クリンステーション大規模改修の工事着手に必要な法手続きを進めている。令和4年3月のしゅん工を予定している。

なお、改修工事費用については、国庫補助を活用することにより、建設費は実質負担額で約9億4000万円安価となり、維持管理費の面からも、下水道投入方式を採用し、事業を進めている。

問

徳島市は3地区で計画されていた公共下水道事業の中止を検討すると発表。町もコロナ禍によって税収が減るため、下水道事業は中止を検討すること。

答

県の汚水処理構想の見直しに併せて、本町でも令和3年度に汚水処理構想の策定を行う予定。



かみなが 紙永 よしお 議員

町長の町政への取組姿勢とその実施状況及び将来展望の発信について

町政に一層関心を持ってもらうためには非常に重要なこと

問

新人議員研修で、高橋町長は議員定数と藍住町政の現状及び今後について話をされた。また、町政の運営に当たり、常に豊かな資料に基づき時代状況を的確に判断せんとしている。町長の町政を推進する上での考えを、全町民に是非発信されることを望む。

答

町民の皆様に対して、私の考えを直接発信するため、広報あいずみに年頭所感や所信表明を掲載している。加えて、昨年度までは各地区協議会の総会において、意見交換をしてきた。さらなる発信に向けて、町ホームページやSNSの活用など、コロナ禍における新たな手法を検討するとともに、新型コロナウイルス感染症が収束した折には、再び町民の皆様と直接対話の機会を設けていきたいと考えている。

論文募集について

積極的に検討したい

問

「あなたは、我が町の10年後を考えたことがありますか」

今日人口3万5000人余りを抱える県下随一の町、藍住町はどうあるべきか。その現状と将来を問う意見発表の場として懸賞論文を企画・募集し、町民の意見を求めることは決して意味のないものではないと考える。公選職にある者が常に口にする言葉として「町民の声を反映した町政を」と言われるが、こうした論文募集も町民の声を聴く一つの方法ではないか。

答

町の施策に町民の声を取り入れ、反映させていくことは、当然かつ重要なことであると認識している。

町制施行65周年の記念行事の一環として、積極的に検討したい。



藍住町合同庁舎

学校給食の食べ残し及び食品ロスの問題について

栄養教育を行うとともに、学校全体で対策を考えていく

問

学校給食の時間も子供たちの教育面では重要な時間だと思うが、食べ残しについてどうするのか。

答

食べ残し削減への具体的な取組としては、次のとおり挙げられる。準備時間を短縮し喫食時間を確保する。授業による好き嫌いの意識改革や、食への興味増進。

今後は、栄養教諭による栄養教育を行うとともに、学校全体として対策を考えていく必要がある。



その他の質問

- 学校の部活動の支援強化について
- 青少年健全育成事業について

わたしの一言

住吉 安藝 泰義氏

～藍住町×マルシェ～

現在ショッピングの仕方は多様化が進んでいる。県外の百貨店やショッピングモール、地元の大型商業施設で混雑の中買い物をしたり、最近ではネットで何もかもがクリック一つで家まで届いたりする時代である。

一方で、町内の個人店で買い物をする機会は減っている。行政も地域振興券やプレミアム商品券等、地元での消費を増やすために施策を講じているが、あまり反映していないように思う。

ここ数年藍住町で大規模なマルシェが行われ、地元の飲食店や個人が趣味で作成している手工芸など、多彩な才能にあふれた作品の販売が多岐にわたっている。こんな面白いものやおいしいもの、活動をしている人など、新しい発見が満載である。今までの買い物の仕方とは違った感情があり、製作者の思いや過程、熱意や人柄があった。

マルシェとは地域の縮図である。文化や伝統、コミュニティーや新しい可能性、全てが凝縮している。この可能性を発信することで、顔と顔を合わせ、コミュニケーションを取り、安心安全おいしい楽しい地域づくりの根底になる。出店者同士、運営、ボランティア、演者、お客様、全てがつながり地域を盛り上げる場になる可能性を大いに感じた。



正法寺川 CRAFT & MARKET

議会のうごき

11月

3日 各種功労者表彰
4日～5日

6日 市町村議会議員研修(滋賀県)
議会だより編集委員会

12日 板野郡町議会議長会定例会
(松茂町)

24日 板野郡町議会議員研修会
(松茂町)

26日 議会運営委員会
第4回議会臨時会の日程等について

25日 第4回議会定例会の日程等について

26日 板野東部消防組合議会
(北島町)

30日 議会全員協議会
第4回議会臨時会の議案について

7日 令和2年第4回臨時会
議会だより編集委員会

15日 104号動画撮影等の詳細について

7日 12月議会定例会開会
議会全員協議会

12月 議会だよりについて

12月 12月議会定例会一般質問

12月

1月

18日 12月議会定例会閉会
21日 板野西部青少年補導センター
組合議会(板野町)

25日 板野東部消防組合議会
(北島町)

7日 議会だより編集委員会
104号の作成について

27日 議会改革調査特別委員会
藍住町議会基本条例の進め方について

8日 協議会等委員への議会議員
の就任について

27日 鳴門市正副議長就任挨拶
議会全員協議会

27日 選挙管理委員会委員及び補
充員の選挙について

27日 議会改革調査特別委員会の
報告について



東京2020オリンピック聖火リレートーチ

編集後記

改選後1年を終えてというところで、各議員が日頃どういう思いで、議員活動をしているのかを町民の皆様を知っていただくため、表紙に私たちの思いを掲載することになりました。

あわせて、議員ごとにQRコードを添付してありますので、スマートフォンなどで読み取ってみてください。30秒程度のコメント動画が見られるようになっていきます。今回は初の取組で議会だよりと動画を連携してみました。

(竹内 君彦)

議会だより編集委員会

委員長 紙 永 芳 夫
副委員長 森 伸 二
委員 前 田 晃 良
委員 竹 内 君 彦
委員 奥 村 晴 明